

北海道新幹線開業を契機とした 地域連携に関する取組みについて

平成27年11月13日



津軽海峡観光クラスター会議

北海道新幹線開業を見据え、観光を核とした地域経済の活性化を実現するため、平成23年4月に当行・弘前商工会議所・函館商工会議所による「津軽海峡観光クラスター会議」を設立して以降、両地域の交流が活発化しております。

観光資源に恵まれた両地域が連携・協力することで、他県にはない質の高い観光を創出し、津軽海峡経済圏の産業振興のけん引役を目指してまいります。

《これまでの主な取り組み》

- ワーキンググループの実施
- 弘前・函館商工会議所部会メンバーの相互視察・意見交換会の実施
- 「酒蔵を巡る旅」等の旅行商品のPR訪問
- 函館の料理人らのグループと日本酒の勉強会を実施。後に弘前市の酒造会社が道南産銘柄米「マツマエ」を使って製造した日本酒「ガスバリ」が完成
- 「函館グルメサーカス」へ弘前市業者が出店
- 「津軽の食と産業まつり」へ函館市業者が出店
- ミスはこだてによる北海道新幹線PR
- 「函館クリスマスファンタジー」へ弘前市長、市民が参加し「弘前ナイト」を実施（点灯式、巨大アップルパイを振る舞い観光連携をPR）
- 台湾への観光プロモーションの実施
- FM局のラジオ番組内に「弘前・函館コーナー」を設けPR



津軽海峡食景色 青森・函館商談会

とことん頼れる

家庭の銀行



dpみちのく銀行

青森県と北海道南に事業所を有する「農水畜産物生産者」「食品加工業者」の販路拡大支援及び地域活性化を目的に、首都圏において出展社と首都圏の料理人・バイヤーが商談する「津軽海峡食景色 青森・函館商談会」を4期連続開催いたしました。

会場では有名料理人による青函出展社食材を使用した試食メニューも用意されオリジナル料理を味わいながら商談が行われ、食を通じて青函の元気をアピールいたしました。

- | | | | |
|-----|----------|----------------|------------|
| 第1回 | 平成23年11月 | KIHACHI銀座本店 | 熊谷喜八氏 |
| 第2回 | 平成24年11月 | KIHACHI銀座本店 | 熊谷喜八氏 |
| 第3回 | 平成26年2月 | 厨 BO! SHIODOME | 落合務氏、杉本敬三氏 |
| 第4回 | 平成27年2月 | 港区 海岸スタジオ | 松田美智子氏 |





地域連携に関する取組み

北海道銀行との「青森県・北海道地区の交流促進」に関する業務提携

平成25年3月、青森県・北海道の各地域における取引先企業、個人および各団体の交流支援、情報支援を通じて各々の地域経済の発展に寄与していくことを目的に、北海道銀行と業務提携しました。

具体的な取組みとして、これまでに札幌市や東京都において「東北・北海道6次産業化ビジネスフォーラム」を開催し、東北全県と北海道の生産者、加工業者、販売業者の皆さんが地域特産品の高付加価値化に向け商談会を行いました。また、両地域の情報ガイドブック等の店頭備え置きの実施や新たな企画を準備しております。



JR東日本グループとの連携

JR東日本グループが上野駅で営業する地産品ショップ『のもの』へ、消費者の商品選別目線を学び、取引先の商品づくりへのアドバイス力を養うことを目的に当行職員を販売スタッフの一員として期間限定で派遣しています。（平成24年から延べ14名）

『のもの』は、生産者や行政、地域金融機関と連携しながら、「旬のもの、地のもの、縁(ゆかり)のもの」といった地域ならではの食を中心とした魅力的な商品を紹介する地産品ショップであり首都圏のお客さまに「青森・函館の食の魅力」をお伝えしています。



地域連携に関する取組み

「みちのく銀行経営塾」の開催

次世代を担う後継者・若手経営者を対象とした「みちのく銀行経営塾」（開催期間：1年間、全12回）の講座を平成22年10月より開催しております。

青森県内はもとより函館市内、秋田県内、岩手県内からも参加し、業種・地域を越えた同世代の経営者のネットワーク形成につながっています。

《これまでの参加者》

第1期生22名 第2期生24名 第3期生20名 第4期生20名 第5期生23名
第6期生24名 合計133名

